

2024年3月期

決算説明資料

2024年5月9日

株式会社 弘電社

1. 経営成績 [2023年度実績－連結]

2023年度 ハイライト

- ・ 売上高 **349** 億円：電気設備工事、商品販売とも増加し前年度比増収（+13.1億円）
- ・ 営業利益 **11.6** 億円：粗利益増加に伴い、前年度比増益（+4.8億円）
- ・ 当期利益 **9.0** 億円：売上規模拡大に伴う粗利益の増加により前年度比増益（+3.4億円）
- ・ 工事手持高 **330** 億円：大型案件受注により前年度比増（+152億円）

※期首公表値比では売上は横ばい、損益については増益

◇経営指標

単位：百万円	2022年度 通期 実績	2023年度 通期 期首公表値	2023年度 通期 実績
売上高	33,557	35,000	34,868
営業利益	682	940	1,156
%	2.0	2.7	3.3
経常利益	856	1,050	1,292
%	2.6	3.0	3.7
当期純利益	556	730	899
%	1.7	2.1	2.6
ROE (株主資本利益率%)	3.0	-	4.6
総資産	31,578	-	32,424
総資産回転率	1.1	-	1.1
自己資本	18,628	-	20,354
自己資本比率%	59.0	-	62.8
借入金(除リース負債)	560	-	560
借入金比率%	1.8	-	1.7
工事手持高	17,872	-	33,041

◇セグメント情報

単位：百万円		2022年 通期			2023年 通期			変動 (b)-(a)
		上期	下期	(a)	上期	下期	(b)	
電気設備 工事	売上高	10,894	14,659	25,553	11,317	14,431	25,748	195
	セグメント利益	416	1,611	2,027	729	1,785	2,514	487
	%	3.8%	11.0%	7.9%	6.4%	12.4%	9.8%	1.9% <small>↑</small>
商 品 販 売	売上高	3,727	4,277	8,004	4,245	4,875	9,120	1,116
	セグメント利益	100	195	295	208	256	464	169
	%	2.7%	4.6%	3.7%	4.9%	5.3%	5.1%	1.4% <small>↑</small>
財務諸表 計上額	売上高	14,622	18,935	33,557	15,562	19,306	34,868	1,311
	セグメント利益	△285	967	682	57	1,099	1,156	474
	%	△1.9%	5.1%	2.0%	0.4%	5.7%	3.3%	1.3% <small>↑</small>

注：①決算短信の「セグメント情報」より作成

②セグメント利益は全社費用（主に各セグメントに帰属しない一般管理費）を控除前の数値であるため、
連結損益計算書と一致しない

2. 経常利益の増減内容 [2023年度実績－連結]

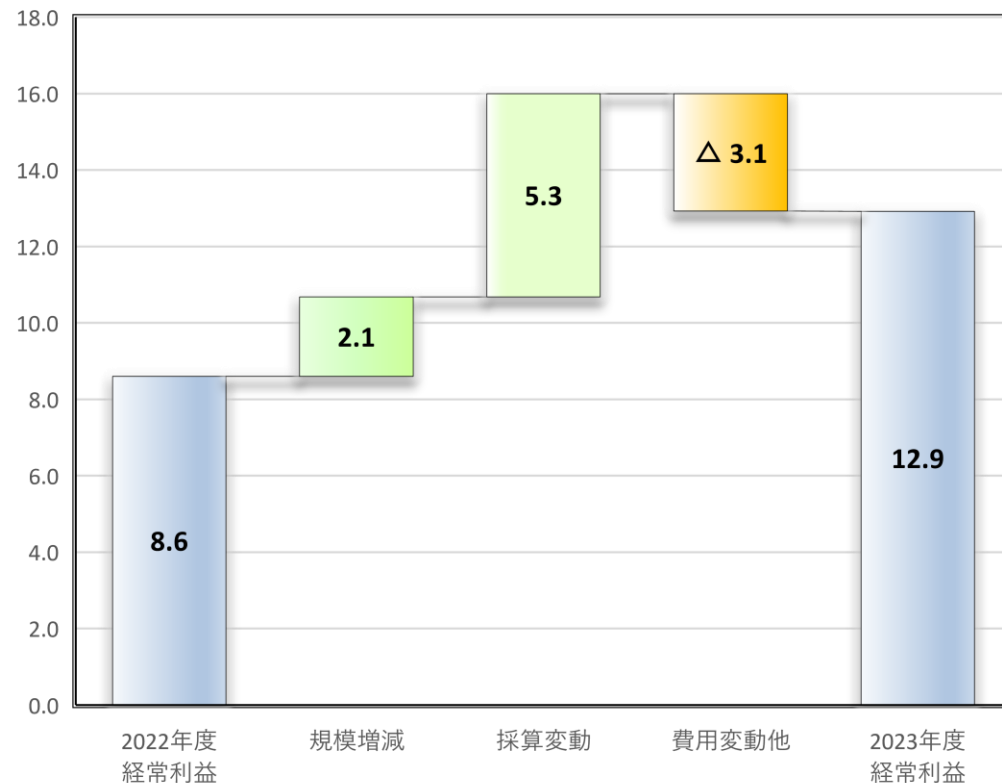
増減内容 ハイライト

- ・売上高 : 民間企業の設備投資が回復基調。大型案件への取り組みも進捗した結果、前年度比増収
- ・経常利益 : 人件費等の期間費用増はあるものの、売上規模拡大に伴う粗利益の増加並びに個別案件の採算改善により前年度比**+4.3億円**

単位：億円

単位：億円		2022年度		変動 (b)-(a)	変動内訳		
		(a)	(b)		規模増減	採算変動	費用変動 他
売上高	設備工事	255.6	257.4	1.8	1.8		
	機器販売	80.0	91.2	11.2	11.2		
	合計	335.6	348.6	13.0	13.0		
売上総利益		53.7	61.1	7.4	2.1	5.3	
利益率		16.0%	17.5%	1.5%↑			
期間費用（発生）		46.9	49.6	2.7			△ 2.7
営業外収益他		1.7	1.4	△ 0.4			△ 0.4
経常利益		8.6	12.9	4.3	2.1	5.3	△ 3.1
利益率		2.6%	3.7%	1.1%↑			

<利益変動内訳>



3. 貸借対照表 [2023年度実績 - 連結]

貸借対照表 ハイライト

- 2023年度末 総資産残高は **324億円** [前年度末比+8.5億円]
- 手許流動性残高は**高水準 [90億円規模]**を維持

連結BS 単位：百万円	2022年度		2023年度		変動	
	2Q末(a)	4Q末(b)	2Q末(c)	4Q末(d)	(c)-(a)	(d)-(b)
	流動資産	21,958	25,884	23,208	25,452	1,250
現金預金	1,620	1,603	1,781	1,450	161	△ 152
売掛債権	11,442	14,564	11,805	14,983	363	419
短期貸付金	7,314	7,777	8,173	7,754	859	△ 23
固定資産	5,809	5,694	5,754	6,971	△ 55	1,277
有形固定資産	1,252	1,206	1,185	1,148	△ 67	△ 58
投資その他の資産	3,965	3,955	4,085	5,381	120	1,426
資産合計	27,767	31,578	28,963	32,424	1,196	845
流動負債	9,188	12,342	10,038	11,397	850	△ 945
買掛債務	6,813	9,475	6,980	7,283	167	△ 2,192
短期借入金	560	560	560	560	0	0
未払法人税	48	245	90	257	42	12
固定負債	486	510	450	571	△ 36	61
退職給付に係る負債	117	135	143	100	26	△ 35
負債計	9,674	12,853	10,488	11,968	814	△ 884
純資産計	18,092	18,725	18,475	20,455	383	1,730
資本金・資本剰余金	2,590	2,590	2,590	2,590	0	0
利益剰余金	15,101	15,826	15,525	16,335	424	509
					0	0
現金預金	1,620	1,603	1,781	1,450	161	△ 152
貸付金(短期・長期)	7,314	7,777	8,173	7,754	859	△ 23
手許流動性	8,934	9,380	9,954	9,204	1,020	△ 175

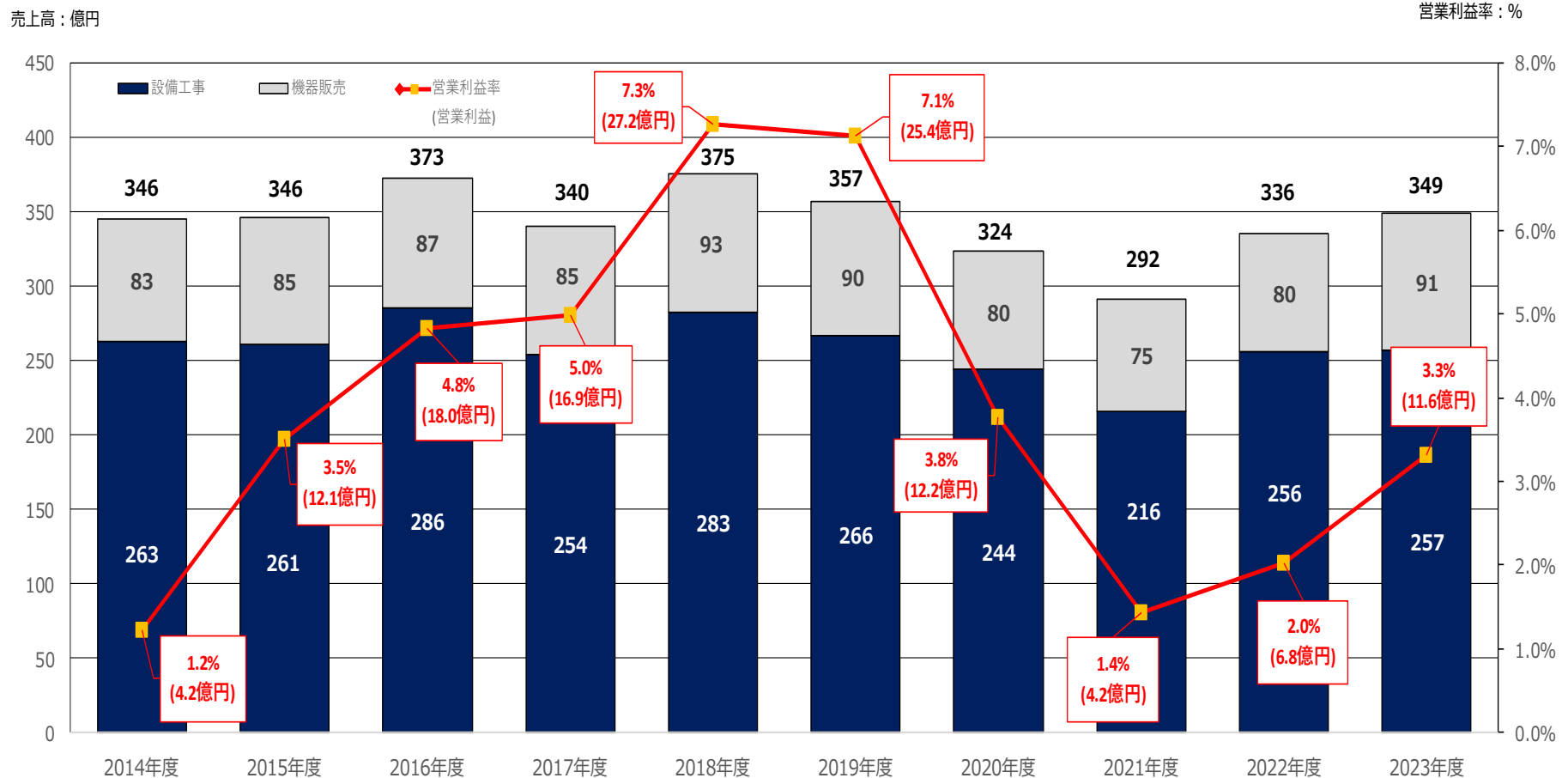
単位：百万円	2022年度 通期(a)	2023年度 通期(b)	(b)-(a)
期首現金	1,112	1,095	△ 17
営業CF	123	190	67
投資CF	238	13	△ 225
フリーCF	361	203	△ 158
財務CF	△ 411	△ 418	△ 7
その他	32	36	4
期末現金	1,095	917	△ 178

- ◇ 売上高の増加による売掛債権の増加を主因とし、総資産残高は前年度末比8.5億円の増加
- ◇ 回収促進による営業CFの改善等により期末現金残高はほぼ前年度末並みの9.2億円
- ◇ 貸付金を含む手許流動性残高は、前年度末比でほぼ横ばいの92億円と高水準を維持
- ◇ 事業環境が変化する中、資金管理に留意した運営を継続するが、持続的成長に向けた投資は積極的に実施

4. 売上高・営業利益率の推移 [通期実績－連結]

業績推移 ハイライト

- ・ 2020年度以降減少傾向にあった売上高・営業利益は、民間建設投資や電材・管材市場の回復、大型開発案件やリニューアル案件の具体化等により2022年度から回復基調に転じ、**2023年度は売上高349億円、営業利益11.6億円と2015年度レベルまで回復。**



5-①. 連結業績予想 [2024年度通期]

業績予想 ハイライト

[2024年度連結業績予想]

売上高 **380億円**/営業利益 **12億円**/経常利益**13億円**/当期純利益**9.1億円**

- ・中期経営計画に基づきDX投資や人的投資（従業員処遇改善等）を行いながら、手持案件の確実な施工により**営業利益12億円確保**を目指す

- ◇ 市場環境は、公共投資や民間建設・設備投資が回復基調にあることに加え、**大型再開発案件**や**リニューアル案件の具体化**、**電材・管材市場の堅調維持**等のプラス要因により総じて順調に推移すると想定。一方で、かねてからの円安に伴う資機材価格の高止まり、**地政学的要因に端を発したエネルギー環境悪化**等のマイナス要因長期化も認識。加えて、建設業における罰則付き**時間外労働上限規制**が適用開始となり、工事施工力の確保が喫緊の課題となっている。
- ◇ 上記環境下、当社グループは2023年度での複数の**大口案件受注**に伴い、近年最高レベルの手持工事を保持。2024年度は、2027年度を目標とする中期経営計画において、一定水準の利益を確保しつつ「**ありたい姿**」の実現に向けた戦略的な先行投資を行う「**フェーズ1（2024～2026年度）**」の初年度にあたる重要な年度と位置付ける。特に工事部門において、**現場業務支援**や**施工生産性向上施策**の成果具現化と確実な価格改善により、先行投資と位置付ける**DX投資**や**人的投資等**の費用増を吸収可能な利益を創出し、全社で**営業利益12億円確保**を目指す。

売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
38,000	9.0	1,200	3.8	1,300	0.6	910	1.2
		3.2%		3.4%		2.4%	

注：利益項目の下段表示は利益率、%表示は、対前期増減率

5-②. 連結業績予想 [弘電社単体受注状況]

業績予想 ハイライト

- 2022年度以降、**拡大基調**に転じ、**2023年度は過去20年で最大の受注実績**。概況は以下の通り

電気設備工事：大型案件の受注に加え中小規模案件受注も順調に推移し前年度比**165%**
(完成高寄与は2025年度以降本格化する見込み)

商品販売：コロナ禍からの脱却に伴う企業の投資再開に加え供給面での制約が一層緩和され前年度比**114%**

[弘電社単体]

単位：百万円,%	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		前年度比 (%)		
	年間実績	構成比	年間実績	構成比	年間実績	構成比	年間実績	構成比	2021年度	2022年度	2023年度
電気設備工事	22,932	74.1%	22,933	75.1%	24,188	78.2%	39,933	81.4%	100%	105%	165%
商品販売	8,032	25.9%	7,601	24.9%	8,004	21.8%	9,120	18.6%	95%	105%	114%
受注高計	30,964	100.0%	30,534	100.0%	32,192	100.0%	49,053	100.0%	99%	105%	152%
工事手持高	16,129		18,331		17,836		32,930		114%	97%	185%

6. サステナビリティ委員会の組成(2024/04～)

1. 目的

- 2027年度目標中期経営計画にて公表した新たな経営方針（「サステナビリティ経営の追求により、全てのステークホルダーを意識した企業価値向上を図る」）を実現すべく、**サステナビリティ経営の推進母体として新設**

2. 役割

- 中期経営計画の「マテリアリティ」(*)につき、「**企業としての持続的成長実現**」「**環境・社会の持続性への貢献**」の観点からKPIを設定しPDCAフォロー（取締役会・経営戦略会議への報告、社内関係部門・関係会社への展開 等）を実施
 - 企業としての持続的成長実現：経営指標、キャッシュアロケーション、従業員エンゲージメント&多様性への対応
 - 環境・社会の持続性への貢献：カーボンニュートラルへの取組み（事業、自社）、安全・安心・快適な社会作り（事業、自社）

3. 構成

